

令和 7 年度行政評価《事業評価調書》

事業名		生活バス路線運行費補助金		担当		総合政策部官民連携室			
事業概要		市内バス路線の維持を図るため、国庫補助のみでは補填されない収支不足額を市補助で補填する。							
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		40,400 千円		人		千円		40,400 千円	
R7予算		75,000 千円		人		千円		75,000 千円	
目標		市民の生活に必要なバス路線の維持及び確保を図る。							
実績・効果		本事業の実施により、市内バス路線の収支不足は解消されており、市内バス路線網が維持されている。							
点検・評価	点検項目		評価		評価の理由等				
	必要性		☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		事業を廃止すると、市内バス路線の収支不足が発生し、さらなる減便や路線廃止につながり、市民の移動手段の喪失につながりかねない。				
	妥当性		☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		事業者から提出された収支については、精査を行った上で補助金を算出している。				
	有効性		☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		本事業の実施により、市内バス路線の収支不足は解消され、事業者の経営安定が図られている。				
	効率性		☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い		特別交付税措置がある。				
評価の結果を踏まえた今後の方向性					継続				
【今後の方向性の説明】									
市内バス路線網を維持するため、本事業を継続するとともに、事業者から要望のある補助の算定方法の変更について、市内バス路線の収支状況をみながら検討していく必要がある。									

事業名		小樽市地域公共交通活性化協議会補助金		担当		総合政策部官民連携室			
事業概要		小樽市地域公共交通網形成計画に基づく施策を実施するため、市から協議会に対して補助を行う。（会長：副市長）							
		事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)	
R6決算		1,233	千円		人		千円	1,233	千円
R7予算		460	千円		人		千円	460	千円
目標		協議会に対して補助を行い、小樽市地域公共交通網形成計画に基づく施策を実施することで、市内公共交通の維持・確保を図る。							
実績・効果		令和 6 年度の協議会事業として、路線バスの利用促進のため、7/27～8/31の期間で市内バス一日乗車券割引販売事業を実施した。前年同期比で3倍以上となる2,756枚を販売し、路線バスの利用促進に寄与した。そのほか、市内公共交通をPRするため、SNS戦略事業として、路線バスにまつわるショートフィルムを作成し、Youtubeにて公開した。							
点検・評価	点検項目	評価				評価の理由等			
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				小樽市地域公共交通網形成計画に基づいた事業を実施し、市内公共交通の確保・維持を図るために必要な事業である。			
	妥当性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				協議会は地域公共交通に関わるメンバーにより構成されており、効果的な事業を行う実施体制が整っている。			
	有効性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				事業の実施期間においては、バス一日乗車券の利用者の増加が図られており、期待した効果が表れている。			
	効率性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い				道補助を利用した（地域づくり総合交付金）。			
評価の結果を踏まえた今後の方向性						継続			
【今後の方向性の説明】									
路線バスの維持については、利用促進による収支改善だけではなく、乗務員の確保が喫緊の課題となっていることから、協議会事業として乗務員不足対策を検討してもらう必要がある。									

令和 7 年度行政評価 《事業評価調書》

事業名	北海道横断自動車道黒松内・小樽間建設促進期成会負担金				担当	建設部新幹線・まちづくり推進室			
事業概要	北海道横断自動車道（黒松内・小樽間）の早期建設を促進することを目的とする期成会の負担金。 （※期成会会長：市長、事務局：新幹線・まちづくり推進室）								
	事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算	192	千円	0.5	人	2,870	千円	3,062	千円	
R7予算	192	千円	0.5	人	2,870	千円	3,062	千円	
目標	期成会において、黒松内・小樽間を結ぶ高規格道路の早期整備等について国や北海道などへの要望活動を実施し、後志管内の広域高速交通ネットワークの確保につなげる。								
実績・効果	国等への要望活動（２回／年）を実施しており、その主な効果は以下のとおり。 ・事業化（H26）共和～余市、(H28)倶知安～共和、(H29)小樽JCT、(R6)ニセコ～倶知安 ・開通（H30）余市～小樽、(R6)仁木～余市 後志管内の広域高速交通ネットワークの確保に寄与している。								
点検・評価	点検項目	評価			評価の理由等				
	必要性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い			・観光をはじめとする地域産業の振興や災害時における避難・輸送など、安全・安心な市民生活やまちの活力を支えるために必要な事業である。				
	妥当性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い			・目標達成に向けて、持続性のある実施体制が整っている。				
	有効性	☐ 高い ☒ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い			・交通の円滑化や安全性・利便性の向上が図られており、期待した効果が表れている。				
	効率性	☒ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い			・必要最小限の体制（予算・人工）で、大きな効果を得られている。				
評価の結果を踏まえた今後の方向性					継続				
【今後の方向性の説明】 黒松内～ニセコ間の事業化に向けて、引き続き事業を継続する。									

事業名				担当				
事業概要								
事業費(A)		概算人工		人件費換算(B)		トータルコスト(A)+(B)		
R6決算		千円		人	0	千円	0	千円
R7予算		千円		人		千円	0	千円
目標								
実績・効果								
点検・評価	点検項目	評価			評価の理由等			
	必要性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
	妥当性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
	有効性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
	効率性	☐ 高い ☐ どちらかという和高い ☐ どちらかという和低い ☐ 低い						
評価の結果を踏まえた今後の方向性								
【今後の方向性の説明】								